



～災害から命を守るために～ 地域版ハザードマップ

保存版
平成28年度作成

地域版ハザードマップとは、自主防災会(自治会等の地域住民により結成された防災組織)が主体となって、ワークショップを重ねながら、過去の災害履歴や危険箇所、避難場所、災害時に役立つ資源等の情報を地図上に表示したものです。今後も修正等あれば、地域で情報共有していただき、地域版ハザードマップを活用してください。避難場所(緊急的に避難できる建物等を含む)や避難経路を確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。

災害に備えて地図面を確認しましょう!

《大地震》

- 赤色で囲まれた地域(住宅密集地)は、大地震により火災が発生した場合、火の手が延焼し拡大するおそれのある地域です。
- 大地震が発生した際、紫色で囲まれた場所(一時退避場所)などの広い場所に逃げ、まず身の安全を確保しましょう。火災が発生している場合は、風向に注意して逃げましょう。

《土砂災害》

- 黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じる恐れのある区域」です。
- 赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じる恐れのある区域」です。

《水害》

- 地図に示した「浸水の範囲」以外の場所でも、雨の降り方によっては浸水する恐れがあるので注意しましょう。
- テレビやラジオなどで雨量情報、警報等の気象情報を積極的に入手しましょう!

下記のウェブサイトにて、気象情報や台風情報などがチェックできます。

『おおさか防災ネット』

アドレス (<http://www.osaka-bousai.net/higashiosaka/index.html>)

『気象庁』

アドレス (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

安全に避難しましょう!

市から発令される避難情報

- ・【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始
- ・【警戒レベル4】避難勧告または避難指示(緊急) ※1
- ・【警戒レベル5】災害発生情報 ※2

避難行動すべきタイミング



高齢者等は
【警戒レベル3】で避難

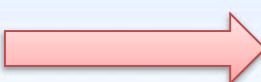


他の住民は
【警戒レベル3】で避難準備
【警戒レベル4】避難勧告で全員避難

- ※1 【警戒レベル4】避難指示(緊急)は必ず発令されるものではありませんので、待たずして速やかに避難してください。
- ※2 【警戒レベル5】は既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をしてください。

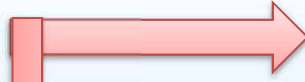
避難行動パターン

優先順位①
:立退き避難



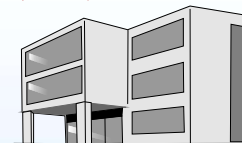
優先順位②
:指定避難所への移動がかえって危険であれば、より

近隣の安全な場所への避難、建物内のより安全な場所へ避難する。



【指定避難所】

- ・縄手小学校 (東大阪市南四条町 3-2)
- ・縄手中学校 (東大阪市南四条町 3-26)
- ・上四条小学校 (東大阪市上四条町 14-25)



近隣の安全な場所
(近隣の頑丈なマンション等)

水害:自宅の2階など、より高い所
土砂災害:自宅の2階の山と反対側の部屋など

防災情報を収集しよう!

市からの伝達方法

- ・エリアメール/緊急速報メール ・Facebook ・Twitter ・広報車
 - ・防災行政無線 ・データ放送(NHK) ・市ウェブサイト
 - ・おおさか防災ネット(防災情報メール) ・Lアラート ・BizFax
- 防災行政無線の放送内容が聞こえにくいときは…
- ☎06-4309-3010
- で確認することができます。(放送後24時間以内)

【メモ欄】

災害時の家族の集合場所や非常持ち出し品など、災害時に必要な情報をメモし、備えましょう。

(例) 家族の集合場所…○○小学校のグラウンドなど
非常持ち出し品 …水、食糧、薬など